

2009年6月30日
株式会社日立産機システム

機器組込み無線モジュールを利用した 『備品・資産ロケーション管理システム』 発売開始

株式会社日立産機システム(取締役社長 椎木清彦)は、この度、機器組込み無線モジュール「smartMODULE-ZG」を組込んだアクティブタグを利用し、備品や資産の所在を容易に把握、管理可能な『備品・資産ロケーション管理システム』TAIMS-G シリーズを発売します。

工場の製造現場においては、製品製造に欠かせない「生産支援機器(備品)」が多く使用されています。これらの備品は、製造ラインの追加、変更等によりその都度、設置レイアウトが変わります。また、生産計画の見直し、部材・部品の欠品等により、生産途中の「仕掛製品(資産)」を一時的に仮置きする事がよくあります。

これら備品・資産の仮置き数量や移動頻度が、少ない時はあまり問題視されませんが、これが度重なると、製造再開時に一時的に仮置きした場所、時期、数量を特定する事が困難になり、また製品製造に必要な備品の移動場所検索に、多大な時間を要します。

仮に、見つからない場合は、再度同じものを製造、購入する事にもなり、追加生産に多大なコストがかかってしまう事にもなります。

本システムでは、この様な製品製造に欠かせない備品や、仕掛品のような資産に簡単に装着できる小型のアクティブタグと、このタグから送信される電波を受信する無線基地局とを組み合わせ、備品・資産の所在を簡易に特定する機能、これらの個体情報を一元管理する機能を提供します。

【システム構成イメージ】



【システムの特長】

1. 備品・資産のロケーション情報を登録された名称で表示可能です。
 - ・ 管理対象備品、資産の所在を、予め登録された名称で表示
 - ・ 任意の備品、資産の所在を簡単に検索、表示が可能
 - ・ 構内地図情報データとの連携表示が可能(オプション対応)
2. 備品・資産のメンテナンス履歴情報の一元管理が可能です。
 - ・ 管理対象備品・資産の個体属性情報(製品名、製造会社等)登録が可能
 - ・ 各備品の保守履歴の登録が可能
 - ・ 備品・資産の状態を画像で保存でき、メンテナンス状況、仕掛状況把握が容易
3. 備品・資産の更新時期、点検時期等のスケジュール管理が可能です。
 - ・ 予め備品の更新時期、点検時期を登録すると事前にアナウンスすることが可能
 - ・ 期間を指定することで、その期間のメンテナンス予定を知ることが可能
 - ・ メンテナンス等作業内容を入力する事で、その結果を更新履歴に反映

【提供価格】

本システムは 100(m)四方のエリア内にある 100 台の備品・資産のロケーション管理を行う場合、機器費用として 300 万円からの対応が可能です。

【発売時期】

発売開始 : 2009年 6月 30日

本件の照会先

株式会社 日立産機システム 産業システム事業部 情報制御エンジニアリング部 [担当:野村]

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町 3 番地 AKS ビル

TEL:03-4345-6214(直通)

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
